株式会社 RKL

歩行器補助シートＲＫＬ(アルケル)で
身体拘束ゼロへの挑戦！

事業概要

・歩行器補助シートRKL(アルケル)をはじめとする介護用品開発事業と訪問介護事業の二本柱で事業を展開しています。
・介護用品事業は、「今までになかった」をコンセプトに現場目線での商品研究開発により、他社との差別化を図ります。
訪問介護事業は、生活機能向上型介護事業所として他事業所は行っていないサービス内容(高次生活機能評価の実施や
．アディショナルタイムの導入など)を積極的に行い、利用者の要介護度の維持・改善に努めます。

技術・製品紹介・サービス紹介

歩行器利用中においての転倒のリスクを防止する

汎用の歩行器に本商品を取り付けることで利用中の転倒リスクを防止します。

それにより歩行練習において「後ろ歩き」が可能になり、前向きの歩行練習では鍛えることができなかった臀部の筋肉を鍛えることができるようになりました。従来であれば理学療法士が横で歩行練習についていても後ろ歩きは転倒のリスクが大きいため行うことができませんでした。

認知症患者の夜間徘徊を歩行練習に

夜間徘徊の際、転倒につながることが多いことからやむを得ず身体拘束をして部屋に閉じ込めてしまうケースがあり、介護者、利用者双方にとって負担が大きくなっています。

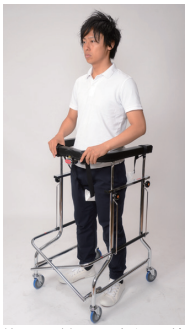
本商品を使うことで、転倒リスクを防止できるため、利用者は自由に徘徊(＝歩行練習)が可能。身体拘束を容認する場合として①切迫性　②非代替性　③一時性という3点があげられますが、この商品は②非代替性を打ち消すことになります。

歩行練習時間の延長による認知症予防効果

1週間に90分間以上の歩行が認知症の予防につながるというエビデンスがあります。しかしながら、歩行介助が必要な利用者にとってその時間を確保することは簡単なことではありません。そこで本商品を使うことにより各利用者に歩行練習の自主練習を促します。転倒リスクが防止できるため介助スタッフも少し離れた場所から「見守りレベルの介助」が可能になり、業務負担の軽減にもつながります。

本体

本体＋歩行器


本体を取付けた歩行器使用時

会社概要

平成28年3月にベテラン理学療法士と医療器械商社の営業マンが設立。「日本をリハビリする」という企業理念のもと、超高齢化社会における、「健康寿命延伸」「介護保険制度運営の正常化」をテーマに福祉用具の研究開発及び製造、訪問系のサービスの提供を行っています。

所在地　：〒610-0332　京都府京田辺市興戸地蔵谷1番地
同志社大学京田辺キャンパス業成館D-egg311号室
URL　：http://www.rkl.jp/
TEL　：0774-66-3676
FAX　：0774-66-3676
代表者名：代表取締役　姫野 宏